

平成 28 年若獅子旗争奪『第 23 回学童低学年秋季大会』実施要綱

- ① 目的 低学年時期から試合に出場して野球を楽しみ、ルールを覚えて、挨拶や礼儀を学ぶ
- ② 大会名称 若獅子旗争奪『第 23 回学童低学年秋季大会』
主催：文京区少年軟式野球連盟
後援：若獅子クラブ、東京新聞、東京中日スポーツ
協力：中央区少年野球連盟、台東区少年軟式野球連盟、世田谷区少年野球連盟
- ③ 実施日 10月－9日 16日 22日 23日 30日 11月－3日 6日 12日 13日 19日 20日
- ④ 大会会場 文京区後楽少年野球場 1面（文京区後楽 1－6－25）
文京区六義公園運動場 2面（文京区本駒込 6－16－10）
- ⑤ 参加資格 男女共に小学 4 年生以下の編成で、大会日程に対応できる単独チーム
- ⑥ 試合方法
- ・ 試合時間は二回戦まで約 60 分で、三回戦以降は時間制限なしで 5 回まで行う。
 - ・ 本投間は 14M、塁間は 21M で行う。試合球はナガセケンコー C 号（本部で用意）。
 - ・ すべて 3 回以降 7 点差でコールド成立。日没や雨天の場合は 3 回で成立。
3 回以前に中止になった場合（ノーゲーム）、及び 3 回以降タイゲームで中止になった場合が再試合とする。
 - ・ 同点の場合は 1 回のみ特別方式（無死満塁、継続打順）を実施し、決着がつかない場合は抽選。
なお、準決勝以降は決着がつくまで行う。
 - ・ 試合中は、バッター、ランナー、コーチ（選手）、ネクストバッターはヘルメットを着用のこと。
捕手も防具と防護用ヘルメットを着用のこと。
 - ・ 幼年選手の投げ過ぎによる故障を防止するため、攻撃側が 10 得点を越えた場合はアウトカウントにかかわらず攻守交代（チェンジ）とする。また、20 点差がついた場合は、その時点で試合終了とする（文京低学年ルール）。
 - ・ 投手の投球回数制限は 1 日 5 イニングとする。ただしタイブレーク方式については、イニング数に含めない。
 - ・ 外野金網フェンス 1 段目と 2 段目の境より上部に直接当たったフェアー打球は本塁打とする。
（後楽少年野球場のみ）
 - ・ チームのユニホームを着用し、指導者背番号（28～30 番）をつけた監督及びコーチにかぎり、攻撃時にコーチャーボックスに入ることを認める。
 - ・ ボークについては 1 回目から宣告する。
 - ・ 守備側、攻撃側、監督のタイムは 3 回とする。
 - ・ スパイクシューズの同色の規定は適用しない。
 - ・ グランドのルールについては別途に定める
 - ・ その他は公認野球規則、全軟連特別規則、各会場ローカルルールに準ずる
- ⑦ 試合結果
- ・ 連盟ホームページに掲載
 - ・ 週明けの火曜日または木曜日に「東京新聞」と「東京中日スポーツ」に掲載
- ⑧ 日程確認
- ・ 雨天の場合の当日確認や日程の確認 → AM7:00 に連盟ホームページで確認の事
※すべて非常に水はけの良いグラウンドで、雨が早朝に止めば試合が出来ます！
- ⑨ 連盟HP 文京区少年軟式野球連盟 <http://www.bsnbb.jp>